

せまい部屋の 保育の工夫

加藤清子

「えっ？ 64名ですって？」 一組の幼児数に触れると、必ずこのようにききかえされるわたくしどもの幼稚園は、狭い園舎に200名ちかい幼児が溢れています。

組の編成は年令別に三組にわけて、各組を二名ずつで担当しておりますが、年少組だけは三名で受け持っています。人数が多いため指導の眼が届かなかったり、また、

計	組	年令		幼児数	計
		一	二		
女男 一八〇四 八六	三	一	二	二七	六四
		一	二	二七	
女男 二六 三三	二	一	二	三三	六二
女男 一八〇四 八六	一	一	二	二七	六四
女男 一八〇四 八六	三	一	二	二七	六四
女男 一八〇四 八六	三	一	二	二七	六四

子どもたちの受ける心理的抵抗をすくなくするため、一組の幼児数を半分にしてみたりで受け持った方が指導しやすいと思われませんが、保育室が一つしかとれませんし、公立の立场上、経営・人事問題などがからんで、やむをえないことと思われれます。しかし、先生が二人で一組を受け持つことは、責任の分担が出来ること、じゅうぶん眼が届くことなどのよい点もありますが、そのためには教師間の人間関係が円滑にゆくことが第一条件です。

園舎は、ある事業団体からの借園舎です。老朽ですが思い切った改造もできませんし、その上満員の保育室ですから、狭い園舎を十二分に活用し、保育効果をあげる

ためには施設の上で、また、保育の面で格別の工夫が必要です。

施設の面での工夫

狭い部屋を出来るだけ広くつかうように工夫しています。

① 保育室内の壁面の利用

室内のまわりの柱に名札のついた釘をつけて、子どもたちの持物を整理できるようにしてあります。

② 机に整理棚をつくる

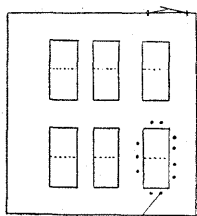
幼児用の整理棚を備えますと場所をとりますので、机の下に浅い棚（深さ17cm、高さ7cm）をつくり、お道具箱をここに仕立てさせます。随時自由に机からとり出して遊んでいます。

次に、机は巾85cm、丈17cmで重くて大きいものですから、いざれ軽く、子どもたちが自由に動かすことの出来るようなものを備えていただく予定ですが、早急にはできませんので、とりあえず半分に切っていました。子どもたちの手で保育室の環境をかえ、新しい気分を生むためにはよい結

果となりました。机にはそれぞれ花の名称を各組共通になづけてあります。

子どもたちの机は一組に六つずつ備えてあります。配列の形態も、いろいろと考えて実施した結果、現在のが一番安定感があります。

保育室内の机の配列



重く大きい机が大きい場所を占めますので、席をきめないで机も数少なくして保育したこともあります。大人数の中で自分の坐る場所のきまっていないことは、なんとなく不安らしく、落ちつかない様子でしたので、入園後なれたところで席をはっきりきめています。きめられた席に坐ることをもとにして、子どもたちの伸び伸びと活発な表現活動がはじまるように考慮します。この点、家庭にも呼びかけて、たとえば狭い一隅でも子どもたちの自由につかえる場所

をつくって持物を整理し、仕末できるように考えていただきます。帰ったら必ずパンや持物を整理することから、よくありがちな忘れものを気をつける習慣が生まれるでしょうし、入学後の予習・復習の態度も育っていくでしょう。

③ 空間の利用

わたくしたちの頭上よりやや高く、柱から柱へ縦横に三本ずつ六本の針金を張り、子どもたちが台にのれば製作品をこの針金にクリップで吊るすことの出来るように考えました。時にふれて子どもたちの製作品が保育室を可愛く、華やかな光彩でいろどってくれます。

④ 各机に一個ずつ屑箱を用意して、毎日当番が部屋の隅にある大きい屑箱へ仕末するようにしました。

⑤ 保育室の壁にテックスをはり、子どもたちの絵を一枚ずつ場所をきめてはるよう考えました。同じところへ重ねてとめますので、進歩のあとや生活内容も、クラス全体の立場から理解でき、参観のお母さまがたも満足のようすです。

⑥ 保育室内に黒板を二つずつ用意して子どもたちが自由に描けるように考えました。

⑦ 二階へ通じる階段へ壁に添ってすべり台を備えてあります。

⑧ 時々園庭から、まりなどが交通頻繁な道路へころげ出るようなことがありますので、うっかり園児がひろいに駆け出して、怪我でもしてはと考え、入口の門のところへ子どもたちの手で持ち運び出来るような低い柵を二つ交互に立てました。

保育の面での工夫

家庭環境と狭い施設から生ずる弊害として、子どもたちには、わがまま・依頼心が強い、落ちつきがない、喧嘩する、発表力に欠けるなどの欠点があげられますので、とくに物事に集中できるような心構え、態度を養えるように心掛けています。

① 保育形態についての工夫

子どもたちの抵抗を少なくするため、クラスを二分して階上と保育室にわかれて指導する場合などもその一例です。しかし、階

上は畳のため多人数で活動しますと塵埃がたち、衛生上問題点もありますが、生活発表などは場から受ける圧迫も少なく、また製作などは、スムーズに受けとられます。広い場所で気分的にもびのびして効果的です。

② 一組が保育室に入りますと、廊下や庭で遊んでいる他の組が邪魔になりますので、形態上では一せい保育の形をとっていますが、各組で話し合いの上お互の邪魔にならぬよう協力しています。

③ 音楽リズムについて

保育室内では、机のまわりや椅子に掛けたままでメロディーにあわせて全身を動かして表現しますが、狭いため手がふれあったりして、どうも動作が小さく、のびのびした点に欠けていることに気がつきましたので、なるべく階上や園外保育でおこなうようにしています。アコーデオンをもって郊外へよく出かけたりもします。

④ 子どもたちが臆せず自信をもって活動できるように、自己紹介、生活発表、絵本の内容をお話させることなどをとめてお

こないますが、その一方法として日常生活のあそびを劇化して発表させることも効果的です。

また、はじめに行動を通して表現する方がやりやすいと考え、——出して引こめて——のような極く簡単な曲をえらび、当番順にひとりずつ「おはよう」と「きよなら」の挨拶の時、皆の前でいたします。これはことばだけの発表よりもやりやすいですし、リズムにのった自分の好きな動作をおともだちが期待しながらまねをしますので、内気な子どもも順番をまちかねるようになりしました。また、とくに朝とかえりの挨拶の時をえらびましたのは、それぞれの子どもたちがその日一日のはじめとおしまいの責任をもつ意味もふくめて効果的です。

⑤ 家庭にも呼びかけてその日の出来ごとを気軽に臆せず話せるような雰囲気をつくっていただきます。

⑥ 生活発表の時など、ひとりが話すのをきいている子どもたちが同感して私語しても、60名からですのでさわがしくなりやすから、ある時「一、二、三で黙りっこ」と二

分間ばかり黙りっこをしましたら、緊張して約束が守られ、その後は子どもたちからの希望で、おしごとの準備、食事の仕度などに、黙りっこが無理でない秩序の中にきちんとおぼれて自主性を育てるのに役立っています。私どものような環境では、こうした方法で落ちつきや反省心を培うことはとくに必要だと思われま

す。信州は冬期が長いので屋内での生活が多くなりますから遊具や玩具を用意し、また、製作なども子どもたちが楽しく遊べるものを考えております。

⑧ つとめて園外保育につれ出します。

以上、思いついたままを述べましたが、今の日本のように狭いところへ人間が密集して複雑化した社会の中で生きる園では、ふとい神経を培うために、幼児期から訓練した方が適応性がついて、効果的かもしれないし、その点では私どもの園は理想的だと苦笑しながら話したものでした。

(松本幼稚園)